

サプライヤー行動規範

継続的な改善と責任ある調達のためのサプライヤーとの連携

2026年9月

目次

はじめに **3**
適用範囲 3

サプライヤー行動規範に対する私たちのアプローチ **4**

私たちは誠実にビジネスを行います **6**
法令および規則の遵守 6
腐敗および贈収賄の防止 6
贈答品および接待 6
利益相反 7
業務記録の正確性 7
公正な競争 7
データプライバシーと情報保護 7
機密保持 7
国際貿易コンプライアンス 7

私たちは人権と倫理的な労働慣行を尊重します **8**

私たちは、従業員は安全で衛生的な職場で働く権利があると考えます **10**

私たちはサプライヤーとの連携や地域社会への影響を重視しています **12**

私たちは、動物の保護とその福祉に努めています **13**

私たちは環境の管理人です **14**
ウォータースチュワードシップ 15
廃棄物管理 15
温室効果ガスの排出 16
農業 17
持続可能な梱包 17
森林伐採 18

Kraft Heinzのサプライヤーに対する責任 **19**

実践とトレーニング **20**
コミットメント 20
サプライヤーの実践 20
トレーニング 20

モニタリングと透明性 **21**
モニタリング 21
不遵守への対応 22
高リスク商品の責任ある調達 22
サプライチェーンの透明性とトレーサビリティ 22
懸念の報告 22

はじめに

The Kraft Heinz Company（「Kraft Heinz」）では、*「世界中のより多くの消費者を満足させることで持続的に成長する」という理念が原動力となっています。*私たちの6つの価値観のひとつは「*正しいことを行う*」です。私たちは地球を守り、責任あるビジネス慣行を推進し、私たちが生活し働く地域社会を支えるための改善に、私たち自身が責任を持って取り組みます。

このサプライヤー行動規範（「規範」）は、すべてのサプライヤーに対する私たちの要件や、基準、期待事項を概説するものです。本規範は、業界のベストプラクティスと国際的に認められた基準に基づいています。

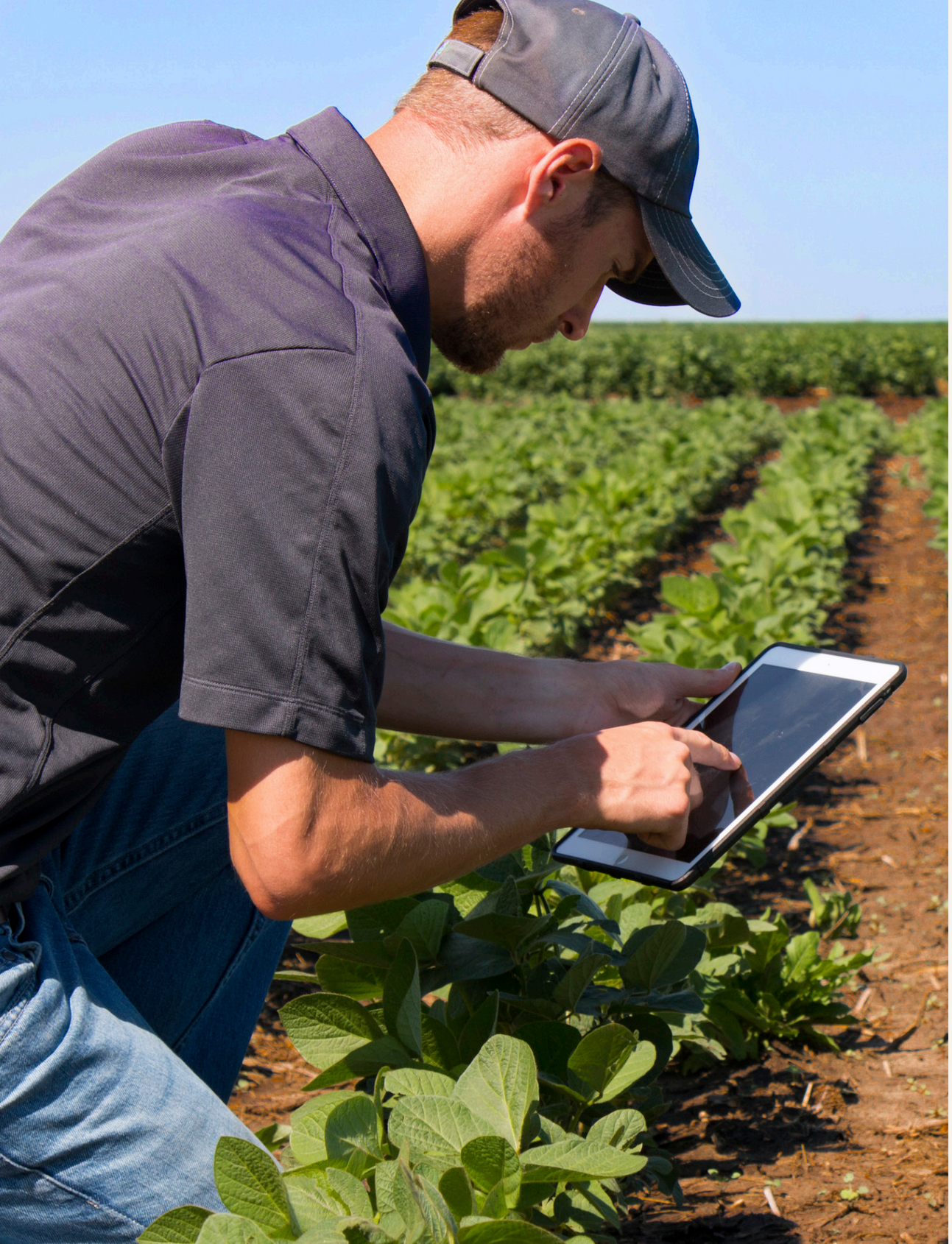
各サプライヤーは、本規範の遵守を徹底する責任を負います。サプライヤーは、本規範に則った方法で下請業者およびサプライチェーンを管理することが求められます。

適用範囲

本規範の目的において、Kraft Heinz、その子会社、および世界中の事業部門はまとめて「Kraft Heinz」と総称します。本規範で使用される場合、「サプライヤー」という用語は、Kraft Heinzおよびその下請業者に対する、製品やサービスのTier 1（直接）およびTier 2（間接）サプライヤーを指します。「サプライヤー」という用語には、請負業者、外部製造業者、ベンダー、サービプロバイダー、労働提供者、流通業者、ライセンシー、合弁事業パートナーが含まれます。また、本規範は、Kraft Heinzのサプライヤーに雇用または関与させられている「従業員」、ならびにそのサプライヤーの下請業者および下流サプライヤーにも適用されます。これには、正社員、臨時社員、フルタイム、パートタイム、または有期雇用の従業員、派遣会社社員、出稼ぎ労働者、合法的な若年労働者（未成年者）、研修生、出向者、および学生の職業体験が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本規範に同意し、本書に含まれる要件に従うという約束は、Kraft Heinzとのサプライヤー契約の約定または発注書の一部となります。特定のサプライヤー契約には、これらの問題の一部に対処する、より具体的な規定が含まれている場合があります。本サプライヤー行動規範のいかなる規定も、サプライヤー契約におけるより具体的な規定に優先するものではありません。





サプライヤー行動規範に対する私たちのアプローチ

Kraft Heinzは、サプライヤーと協力し、社会的・環境的要因に取り組み、継続的な改善を推進しています。
サプライヤーの皆様にも、私たちとともに責任ある調達への取り組みを実践していただくことを期待しています。

本規範に概説される**必須要件**および**期待される慣行**は、業界のベストプラクティスおよび国際的に認められた基準に基づいています。これには、国連のビジネスと人権に関する指導原則、国際人権章典、労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言、ならびに責任ある事業活動に関するOECD ガイドラインが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本規範は、責任ある調達に関する私たちの現在の立場を反映しています。私たちは、本規範を定期的に見直し、ここに定められた要件や期待が引き続き適切で、最新の動向に対応していることを確認します。

要件と慣行

Kraft Heinzのすべてのサプライヤーは、本規範に定められた必須要件を遵守しなければなりません。サプライヤーは、さらなる改善の取り組みの指針として、本規範に含まれる期待される慣行を使用することが推奨されます。

必須要件 は、Kraft Heinzのサプライヤーとして許容される最低限の行為について規定しています。

期待される慣行は、義務ではないが強く推奨される行動や慣行について概説しています。

サプライヤー行動規範

継続的な改善と責任ある調達のためのサプライヤーとの連携



**私たちは誠実に
ビジネスを行います。**



**私たちは人権と倫理的な
労働慣行を尊重します。**

**私たちは、従業員は
安全で衛生的な職場で働く
権利があると考えます。**



**私たちはサプライヤーとの
連携や地域社会への
影響を重視しています。**





**私たちは、動物の
保護とその福祉に
努めています。**



**私たちは環境の
管理人です。**



私たちは誠実にビジネスを行います。

必須要件：以下はすべて、私たちのサプライヤーに対する必須要件です。

法令および規則の遵守

サプライヤーは、事業を行う国のすべての適用法および規制、ならびにKraft Heinzへの製品やサービスの提供に関するすべての適用法および規制を遵守しなければなりません。

腐敗および贈収賄の防止

サプライヤーは、不正なビジネス上の優位性を得る目的で、直接的または間接的に支払い、申し出、贈り物、約束、インセンティブ、または何らかの価値あるものを提供してはなりません。サプライヤーは、米国海外腐敗行為防止法や、英国贈賄防止法、カナダ外国公務員汚職防止法、その他すべての適用される腐敗防止・贈収賄防止法を完全に遵守して行動しなければなりません。サプライヤーは、横領や、恐喝、贈賄、腐敗を一切容認しない立場をとらなければなりません。また、手続きを円滑にするための支払いも禁止されています。取引先は、Kraft Heinzの「倫理・コンプライアンスに関する第三者デューディリジェンスプロセス」を遵守しなければなりません。このプロセスでは、サプライヤーは、Kraft Heinzと取引を行う前に、政府職員または政府機関、政党の代表者、またはKraft Heinzの従業員との業務上または所有権の関係を申告する必要があります。

贈答品および接待

サプライヤーは、Kraft Heinzの従業員に対して、ロゴ入りの販促品など、些細で付随的かつ名目上の価値のものでない限り、贈答品やビジネス上の接待を提供してはなりません。贈答品やビジネス上の接待は、正当なビジネス目的のためでなければならず、不当な利益を得たり、事業上の判断に影響を与えたり（または与えているように見せたり）する意図があってはなりません。また、贈答品や接待の提供や受け取りが行われる国の法律を遵守し、金額や頻度が常識的でなければなりません。

利益相反

サプライヤーは、Kraft Heinzとの業務活動を行う上で、実際の利益相反または潜在的な利益相反の影響を受けないようにしなければなりません。サプライヤーは、自身が関与することになった（または関与する予定がある）ビジネス関係で、実際に利益相反が生じる、または利益相反が生じる可能性がある、または利益相反と見られる可能性のあるものを直ちに開示しなければなりません。

業務記録の正確性

サプライヤーは、すべての商取引およびビジネス取引を完全、透明、正確、適時に記録し、維持しなければなりません。サプライヤーは、サプライヤーのビジネス記録の情報を偽造、省略、虚偽表示、隠匿してはなりません。すべての適用法、規制、および一般に公正妥当と認められた会計原則に従って、会計帳簿をつけなければなりません。

公正な競争

サプライヤーの世界での競争は誠実に行う必要があります。サプライヤーは、直接的または間接的に、競合他社との違法または不正な協力に関与したり、競合他社と競争または競争上の機密情報について話し合ったり、取引の制限や競争の減少に同意したりしてはなりません。サプライヤーは、適用されるすべての競争法や独占禁止法、規制を遵守しなければなりません。

データプライバシーと情報保護

サプライヤーは、（特定された、または特定可能な個人に関する個人データまたは個人情報とみなされるデータを含む）データおよび情報の保護、プライバシー、処理に関するすべての適用法および規制を遵守しなければならず、Kraft Heinzをかかる法令や規制に違反させてなりません。Kraft Heinzを代表して個人データを処理するサプライヤーは、Kraft Heinzが契約条項またはその他の書面でサプライヤーに提供するデータ処理要件に従って、かかる個人データを処理することに同意するものとします。サプライヤーは、サプライヤー、その代理人、または下請業者が所持、またはその指示に基づき処理しているKraft Heinzのデータまたは情報に関して、不正アクセス、盗難、紛失、誤用、損害、またはその他のセキュリティ違反が発生したことを認識した時点で、直ちにKraft Heinzに通知しなければなりません。

機密保持

サプライヤーは、Kraft HeinzまたはKraft Heinzのビジネスパートナーに属する機密情報や、企業秘密、知的財産を適切に管理し、保護しなければなりません。これらの情報は、機密保持が維持され、当該情報が開示されないよう徹底した上で共有されます。サプライヤーは、Kraft HeinzまたはKraft Heinzのビジネスパートナーに属するかかる機密情報の不正な開示、喪失、または漏洩があった場合、実行可能な限り速やかにKraft Heinzに通知し、違反に関連する潜在的リスクを軽減するために、最善の努力を払わなければなりません。Kraft Heinzについての機密情報または専有情報は、インサイダー取引、またはKraft Heinzおよびその請負業者への商品やサービスの供給とは無関係のその他の活動に従事したり支援したりするために使用してはなりません。

国際貿易コンプライアンス

サプライヤーは、適用されるすべての経済制裁、輸出規制、反ボイコット法、規制、命令、指定、ライセンス、および関連する指令を遵守しなければなりません。サプライヤーは、自分たちやKraft Heinzがかかる法律に違反することになるリスクを最小限に抑えるために、効果的な内部統制を実施する必要があります。





私たちは人権と倫理的な労働慣行を尊重します。

Kraft Heinzは、責任あるビジネス慣行を維持し、尊厳をもって人を扱い、人権を尊重することに努めています。

本規範の遵守に加え、すべてのサプライヤーはKraft Heinzのグローバル人権ポリシーに含まれる関連基準および責任あるビジネス慣行を守る必要があります。このポリシーは、これらの基準を実施するために必要な必須要件や、期待される慣行、管理システムについて定めています。

私たちは、サプライヤーが人権リスクを特定し、それに対処するとともに、効果的な予防および是正措置を実施し、事業や調達先の地域社会や人々の暮らしに積極的に貢献することを期待しています。

必須要件：Kraft Heinzはサプライヤーに以下を求めています。

- 事業を行う国における、人権に関するすべての適用法および規制を遵守する。
- グローバル人権ポリシーに定められた以下に関する必須要件を満たす、明確な書面による方針を用意する。
  - 児童労働
  - 強制労働
  - 責任ある採用
  - 労働時間と賃金
  - 差別の禁止
  - 結社の自由と団体交渉権
  - 苦情処理メカニズム
  - 土地に関する権利
  - ジェンダー平等
  - 安全な労働環境
  - ハラスメント
  - 気候リスク
- 各トピックごとに適切なシステムと管理を維持する。
- 要請があった場合に、リスクベースの評価、監査、検証に参加する。
- 不遵守が発見された場合は、定められた期限内に是正措置を実施する。

期待される要件：グローバル人権ポリシーに記載されたその他の期待される慣行に加え、サプライヤーは以下を行うことが推奨されます。

- 従業員のウェルビーイングと包摂性を高めるため、教育へのアクセスを支援し、公正な労働時間を推進し、脆弱な立場にある人々を含め、安全で、敬意のある、包摂的な職場環境を育む。
- 従業員を巻き込み、実施状況をモニタリングし、苦情処理メカニズムを維持し、データを活用して労働条件の改善とレジリエンスの向上につなげることで、エンゲージメントや、透明性、継続的改善を強化する。



私たちは人権と倫理的な労働慣行を尊重します。



私たちは、従業員は安全で衛生的な職場で働く権利があると考えます。

Kraft Heinzは、従業員、下請業者、そして施設を訪れるすべての方々に、安全で、衛生的、安心な職場環境を提供することに努めています。私たちは、すべての雇用主が、職場の安全衛生プログラムにおいて高い水準を維持し、従業員の安全を確保する責任があると考えています。

必須要件：Kraft Heinzは、サプライヤーに対し最低限、以下の安全衛生基準を満たすことを求めています。

- 従業員の安全衛生に関するすべての適用法および規制を遵守し、安全衛生の状況に関する責任を上級管理職に割り当てる。
- 安全衛生に関する方針と管理システムを維持し、その効果を定期的に評価する。
- サプライヤーの職場環境を継続的に改善し、従業員の健康への害を防ぐ。
- 認識されたリスクを軽減し、個人防護具（PPE）などの管理よりも危険の排除と代替を優先する。
- 労働安全衛生局（OSHA）や世界保健機関（WHO）など、地域の法律や基準に準拠した個人用防護具を用意する。
- 従業員に対して、国や地域の言語で労働安全衛生に関するトレーニングを確実に実施し、訓練が行われたことを記録として残す。さらに、別の言語を話す従業員向けに、翻訳した資料を掲示し、従業員が利用できる状態にする。
- 従業員が緊急の医療サービスを利用できるようにし、すべての職場に対して、明確に識別された妨げのない非常口の維持を義務付け、避難訓練を実施する。
- 従業員に飲料水、清潔なトイレや手洗い設備、十分な暖房と換気、食料保管のための衛生設備、衛生的な宿泊施設を提供する。
- 従業員のための居住施設が供給者、労働提供者、またはその他の下請業者によって提供されている場合、サプライヤーはその施設が清潔で安全かつ構造的に健全かつ適切に維持されていることを保証しなければなりません。
- 従業員が健康と安全の問題について恐れや報復なく声を上げられる職場環境を作り、それを維持し、事故が公平かつ客観的に調査される環境を整え維持する。
- 職場の健康・安全状況と文化を継続的に改善する取り組みを示す。
- **環境・健康・安全政策**に記載されたその他の要件

私たちは、従業員は安全で衛生的な職場で働く権利があると考えます。





私たちはサプライヤーとの連携や地域社会への影響を重視しています。

Kraft Heinzは、競争の力を活用して経済成長を促進し、すべての人に比類なき機会を創出することを信条としています。私たちのサプライヤーの参入促進と育成の取り組みは、幅広いサプライヤーと協力することでサプライチェーンの潜在能力を最大限に引き出すことを目指す、意図的な取り組みです。サプライヤーベース全体に投資することで、私たちの事業を強化するだけでなく、経済繁栄の原動力にもつながっています。私たちは、サプライヤーと密接に連携することで、経済的エンパワーメントを促進し、地域経済の強化を推進し、地域社会への影響を支えられると信じています。私たちは、サプライヤーとの関係を、私たちがサービスを提供する地域社会への影響の延長線上にあると考えています。

サプライヤーに対する私たちのコミットメント：

- あらゆる種類・規模の企業との提携
- 機会創出
- イノベーションの推進
- 地域社会への影響強化

私たちは、調達活動においてサプライヤーの公正な参加を約束しています。私たちは、サプライヤーとバリューチェーンのつながりを、あらゆる形態・規模の企業にとってよりアクセスしやすく、包摂的にすることを目指しています。私たちは、ビジネスパートナーシップの構築に積極的に取り組みながら、既知の障壁を取り除くためにビジネス慣行を継続的に見直し、改善しています。

期待される慣行：Kraft Heinzは、包摂的なビジネス慣行の実現に向けた取り組みの一環として、サプライヤーに対し、自社の調達における方針・管理計画の中に、サプライヤーの参画促進と育成を組み込むよう呼びかけています。



私たちは、動物の保護とその福祉に努めています。

Kraft Heinzは、動物由来の原材料を責任をもって調達し、サプライチェーンに関わる動物を人道的に扱うことに取り組んでいます。Kraft Heinzは、畜産動物の知性を認め、その人道的扱いを堅持するとともに、動物福祉に関する取り組みを継続的に改善していくことを約束します。

Kraft Heinzのアプローチは、国際的に認められた、動物福祉に関する最低限の期待水準を定める原則である「畜産動物福祉に関するビジネスベンチマーク」（BBFAW）と、以下の「5つの自由」に基づいています。

- 飢え・渇きからの自由
- 肉体的・熱的不快からの自由
- 痛み・負傷・病気からの自由
- 本来の行動がとれる自由
- 恐怖・抑圧からの自由

これらの原則は、Kraft Heinzに対して物品またはサービスを提供するすべてのサプライヤーに適用されます。供給される製品が動物由来かどうかにかかわらず、サプライチェーンのあらゆる段階で動物に直接または間接に関わり、動物に依拠し、または動物へ影響を及ぼす場合が対象です。

必須要件：Kraft Heinzはそうしたサプライヤーに以下を求めています。

- 抗菌剤・ホルモン剤の使用や、疼痛緩和、日常的な身体切断処置、人道的な安楽死処置、輸送方法、飼育環境および環境エンリッチメントに関する基準が含まれ、必要に応じて種ごとに異なる要件も定められている、Kraft Heinzの「グローバル動物福祉ポリシー」を遵守する。
- 事業を行う国における、動物福祉に関するすべての適用法および規制を遵守する。



私たちは環境の管理人です。

Kraft Heinzの環境への取り組みは、まず私たち自身の事業運営における環境負荷（フットプリント）から始まります。私たちは水とエネルギーの節約や、排出量の削減、廃棄物の最小化、梱包の持続可能性向上に積極的に取り組んでいます。私たちの環境への取り組みは、サプライチェーン内の活動にも及び、サプライヤーは自社の材料や、製品、事業の環境負荷を最小限に抑える責任を負っています。

気候変動と環境破壊の脅威が高まっていることは、これまで以上に明らかです。Kraft Heinzは、気候変動対策と環境保全に対して総合的なアプローチを取ることに努めています。私たちは、環境の保護と保全を目的として、サプライヤーと協力してリスクに対処し、持続可能なソリューションと管理手法を開発することに努めています。

ウォータースチュワードシップ

Kraft Heinzは、特に水ストレスに直面する地域において、責任あるウォータースチュワードシップ（水資源の管理）に取り組んでいます。私たちの主な焦点は、自社およびTier 1サプライヤーの事業における水関連リスクと影響の管理・軽減にあり、責任ある水管理の期待はサプライチェーン全階層に及びます。水は重要な共有資源であり、効果的な管理は生態系の保護や、地域社会の支援、長期的な事業のレジリエンス確保に不可欠です。

必須要件：Kraft Heinzはサプライヤーに以下を求めています。

- 水の使用、取水、廃水処理、廃水の排出に関するすべての地方・地域・国の適用法および規制を遵守する。
- 必要に応じて、取水、廃水処理、排出に関する有効な許可や、ライセンス、認可を保持する。
- 表流水、地下水、その他の自然水域の汚染を防ぐため、廃水が適用される法的・規制上の要件に従って処理・排出されることを徹底する。
- 水資源の不法な排出や、汚染、誤用を防止する。

期待される慣行：サプライヤーは、状況に応じて、実行可能な範囲で、自社の規模や、立地、地域の実情に合った責任ある水の管理に取り組むことが推奨されます。これには以下が含まれます：

- 自社の水使用を把握し、事業における主要な水関連リスクと影響を特定する。
- 可能な限り水効率を改善し、水消費を削減する機会を模索する。
- 水使用および廃水を責任を持って管理するための運用管理とベストプラクティスを実施する。
- 必要に応じて、共有水資源の成果を改善するための協調的または地域のウォータースチュワードシップの取り組みに参加する。
- 自社の事業に関連する国際的に認められたウォータースチュワードシップの原則やベストプラクティスを考慮する。
- 合理的な要請があれば、既存の運用データを用いて水使用効率や廃水管理の進捗・改善を示す準備をしておく。

廃棄物管理

Kraft Heinzは、主に自社の事業とTier 1サプライヤーに焦点を当てた包括的なアプローチで廃棄物を管理しています。廃棄物の発生を抑え、資源の効率的な活用を進め、環境への影響をできるだけ小さくするため、サプライチェーンのあらゆる段階で責任ある廃棄物管理が求められます。効果的な廃棄物管理は、人の健康を守り、環境を保全し、長期的な事業運営のレジリエンスを支えるうえで重要です。

必須要件：Kraft Heinzはサプライヤーに以下を求めています。

- 廃棄物管理および有害物質に関する、すべての地方・地域・国の適用法および規制を遵守する。
- 必要に応じて、廃棄物の取り扱い、保管、輸送、処理、処分に関する有効な許可、ライセンス、承認を維持する。
- 違法投棄、無秩序な処分、無許可の取り扱いを防止する。
- 有害廃棄物や、化学物質、その他の規制対象物質を安全かつ環境に配慮した方法で取り扱う。

期待される慣行：サプライヤーは、状況に応じて、実行可能な範囲で、自社の規模や、立地、地域の実情に合った安全かつ責任ある廃棄物管理に取り組むことが推奨されます。これには以下が含まれます：

- 可能な限り廃棄物の発生を最小限に抑え、材料の効率を高める機会を特定する。
- 廃棄物の種類を分別し、適切な取り扱いや、保管、処分を確実に行う。
- 土壌や水への流出、漏えい、汚染を防ぐための管理策を実施する。
- 必要に応じて、廃棄物の輸送、処理、処分において、認可を受けた第三者を利用する。
- 適切であれば、地域のインフラや規制に沿った形で、廃棄物の削減、再利用、リサイクルの実施について検討する。
- 自社のサプライチェーン内で責任ある廃棄物管理に関する意識を高める。





私たちは環境の管理人です。

温室効果ガスの排出

気候変動に対応するには、事業慣行とそれが温室効果ガス（GHG）排出に与える影響を見直すことが必要です。Kraft Heinzは、2050年までにバリューチェーン全体でネットゼロを達成することを約束しており、暫定目標はScience Based Targets initiative（SBTi）と整合しています。

Kraft Heinzは、スコープ1、2、3の排出量に関するGHGフットプリントのインベントリを毎年作成しています。サプライヤー関連の排出が私たちの総GHG排出量の大部分を占めるため、サプライヤーの支援は全体的なフットプリント管理の改善に不可欠です。Kraft Heinzは、以下に示す行動計画およびデータの要請を、家畜製品、乳製品、砂糖・甘味料・でんぷん、油脂、トマト製品、加工穀物、コーヒー、梱包資材、完成品など、私たちの主要なスコープ3調達分野の選定されたTier 1サプライヤーに対して重点的に行います。

必須要件：Kraft Heinzはサプライヤーに以下を求めています。

- GHGフットプリントを把握し、GHGプロトコル、つまり企業標準および関連する標準と方法論に従ってスコープ1および2の排出量を算定する。
- Science Based Targets initiativeの要件に沿って検証・整合している科学に根ざした気候目標へのコミットに向けて進捗するための計画を策定・実行し、その目標を達成するための期限付きの計画も含める。サプライヤーは、要請があった場合に、当該計画をKraft Heinzに提出するものとします。
- 私たちのカーボン会計プラットフォームを通じて製品カーボンフットプリント（PCF）データを共有するか、データが利用できない場合は、その開発のためのスケジュールと計画を提示し、コミットする。Kraft Heinzは一次データの比率拡大に取り組んでおり、サプライヤーは要請に応じてそのような一次データをKraft Heinzに提供するものとします。
  - › このPCFデータは、GHGプロトコル製品基準、ISO 14040/44、または最新のPACT（Partnership for Carbon Transparency）手法などの国際的・業界標準に従って算定する必要があります。
  - › 農産物および共同製造パートナーからの完成品を含むその他の調達品のPCFは、クレードル・トゥ・ゲート（cradle-to-gate）のシステム境界を用いて算定する必要があります。
  - › 農産物については、ゲート・トゥ・ゲート（gate-to-gate）のシステム境界を用いてPCFを算定する必要があります。

期待される慣行：サプライヤーは以下を行うことが推奨されます。

- 全体的なエネルギー消費を削減し、再生可能エネルギーやその他の低炭素エネルギーの調達・生産を増やすプログラムを構築する。
- GHGプロトコル、つまり 企業標準、Corporate Value Chain Standard（企業バリューチェーン標準）、および関連する方法論に従ってスコープ3排出量を算定する。
- 自社のサプライヤーと連携して上流のスコープ3排出量についてより深く理解し、削減に向けて積極的に取り組む。

農業

農業は作物の生産性、環境の持続可能性、そして人の健康を維持する上で重要な役割を担っています。私たちは、地域、作物、環境的・経済的制約を踏まえた継続的改善のアプローチにより、サプライチェーン内で持続可能な農業慣行を推進しています。

私たちの持続可能な農業実践マニュアル「In Our Roots」には、サプライヤー全体で実施・拡大可能な実用的かつ適応可能なガイドラインが記載されています。検討すべき項目には以下が含まれます：

- 立地選定と生態系管理
- 種子・苗木・台木の選定
- 土壌の健康と栄養管理
- 統合的な害虫・疾病管理
- 水、エネルギー、廃棄物の管理
- 責任ある労働慣行、倫理行動および労働安全衛生

また、私たちは持続可能な農業イニシアティブのRegenerating Together（SAI RTP）プログラムで定義される再生型農業にも取り組んでいます。Regenerating Togetherは成果重視のフレームワークで、土壌の健康、水、生物多様性、気候、農家の生計という5つの影響領域における進捗を一貫して測定する方法を提供します。

必須要件：Kraft Heinzはサプライヤーに以下を求めています。

- 事業を行う地域・国で違法とされる農薬や除草剤を使用しない。
- サプライヤーや農場で使用される化学物質を追跡・記録し、世界保健機関（WHO）のSection 1aおよび1bやロッテルダム条約のPrior Informed Consent（PIC）リストに掲載された化学物質や農薬を含めない。

期待される慣行：サプライヤーは以下を行うことが推奨されます。

- 私たちの持続可能な農業実践マニュアル「In Our Roots」に沿った実践を行う。
- SAI RTPまたは同等の枠組みで定義されたオンボーディングレベルのパフォーマンスを遵守し、可能であればより高いパフォーマンスを目指す。
- 必要な化学物質の使用量を減らすための新たな作業方法を研究・検討する。
- 可能な場合は、汚染性の高い化学物質を必要とする工程を避けるために生産技術を改良する。
- 水、肥料、その他の投入資材を測定・記録し、要請があればKraft Heinzにその記録を提供する。
- 土壌サンプルを採取して、特定作物に必要な栄養要件を確認し、資源を過剰に使わずに土壌の健康を効率的に管理できるようにする。

持続可能な梱包

梱包の継続的な改善は、廃棄物や気候変動に対処する上で極めて重要です。梱包の環境影響を最小化することは、共有すべき優先事項です。これには、サプライチェーン全体で不要な梱包の削減や、リサイクル・再利用・堆肥化の優先、再生材料の使用拡大、リサイクル不可能な素材やバージン素材の可能な限りの削減が含まれます。

必須要件：Kraft Heinzは梱包材サプライヤーに以下を求めています。

- 最初の出荷前および変更時に、組成、寸法、接着剤、コーティング、インク、加工補助剤、証明書を含む完全な梱包仕様書と材料開示を速やかに提供する。

期待される慣行：サプライヤーは以下を行うことが推奨されます。

- 法規制に起因するリスクへの対応と、持続可能な成長に向けたポートフォリオの将来対応力を高めることを目的とした、私たちの グローバル・パッケージング設計原則に従う。
- 製造、保管、輸送、流通、販売ネットワークにおいて、より持続可能な梱包手段を活用する。
- 持続可能な梱包の取り組みを支援するために技術革新を行い、継続的に改善する。



私たちは環境の管理人です。



森林伐採

森林伐採や森林劣化は気候変動や、生物多様性の喪失、地域社会への悪影響の一因となっています。Kraft Heinzは、天然林から農地・プランテーション・その他の土地利用への転換や、深刻・持続的な森林劣化を引き起こすような調達慣行に加担しないよう努めています。

サプライヤーは、特にリスクの高い農林産品（パーム油、牛肉、大豆、コーヒー、カカオ、紙ベースの梱包など）について、Kraft Heinzのグローバル非森林伐採調達ポリシーに沿ってこの取り組みに従うことが求められます。このコミットメントは、アカウンタビリティ・フレームワーク・イニシアティブ（AFi）やScience Based Targets initiative for Forest, Land and Agriculture（SBTi FLAG）などの国際的に認められた原則・枠組みによって導かれています。

必須要件：Kraft Heinzはサプライヤーに以下を求めています。

- 土地利用、森林保護、環境管理に関するすべての地方・地域・国の適用法を遵守する。
- EU市場に投入される製品については、欧州森林破壊防止規則（EUDR）の該当要件を遵守し、Kraft Heinzが最初の下流事業者である場合にはデューディリジェンス声明の提出および該当する参照番号の提供を行う。
- Kraft Heinzのグローバル非森林伐採調達ポリシーに従う。
- 事業およびサプライチェーンにおいて森林伐採や森林劣化を防ぐための対策を採用・実施する。
- 2020年12月31日以降に森林伐採が行われていない地域からのみ調達する。
- Kraft Heinzの年次森林伐採評価に参加する。
- 要請があれば、遵守を示すための適切な書類や証拠を保持する。
- 必要に応じて、原産地やトレーサビリティデータを含む関連するサプライチェーン情報を開示する。
- サプライチェーンに関する森林伐採リスクや苦情が判明した場合や、森林伐採なしの主張を行う際に報告・対応する。
- この方針の遵守に影響を及ぼす可能性のあるサプライチェーンや、調達原産地、認証状況の変更については、速やかにKraft Heinzに通知する。

期待される慣行：サプライヤーは以下を行うことが推奨されます。

- 直接調達と間接調達の両面でトレーサビリティを向上させる。
- 森林伐採リスクを特定・管理するためのモニタリングシステムを導入する。
- 森林保全、回復、責任ある土地管理の実践を支援する。
- サブサプライヤーと協働してバリューチェーン全体で森林伐採のない実践を強化する。
- 問題が特定された場合には苦情処理メカニズムや是正プロセスに参加する。



Kraft Heinzのサプライヤーに対する責任

Kraft Heinzは、サプライヤーが、私たちが毎日より良い仕事をできるようにするための重要なパートナーであることを理解しています。Kraft Heinzは、サプライヤーと取引を行う際に、以下の原則に従います。

- Kraft Heinzは、常にすべてのサプライヤーを正直に、倫理的に、公正に扱うよう努めます。Kraft Heinzは、意図的にサプライヤーを誤解させることはありません。
- Kraft Heinzは、正直なサプライヤーの過ちを利用しません。
- Kraft Heinzは、問題や紛争を公正かつ事実に基づいて解決するために努力します。



実践とトレーニング

コミットメント

すべてのサプライヤーは、Kraft Heinzとの契約締結、発注書の実行、または取引関係の構築のいずれにおいても、本サプライヤー行動規範の内容を確認し、承認したうえで、これらの行動規範の要件を遵守することに対し、正式に同意しなければなりません。サプライヤー行動規範は、契約プロセスの初期段階でサプライヤーに伝えられ、契約書に組み込まれます。

サプライヤーの実践

サプライヤーは誠実に運営し、現地の適用法およびこれらのサプライヤー行動規範を遵守しなければなりません。コンプライアンスを遵守するために、適切な方針や、トレーニング、管理システム、手順、資源を維持しなければなりません。これらの要件は、サプライヤーがさらにその従業員や、請負業者、代理人、代表者、および自社のサプライヤーにも順次伝えなければなりません。効果的な実施と遵守を徹底するため、十分な権限を持つ個人または複数の個人を指定しなければなりません。

トレーニング

Kraft Heinzはこれらのサプライヤー行動規範に関するトレーニング資料を提供し、Kraft Heinzの事業に携わるすべてのサプライヤー代表者またはアカウントマネージャー、その資料を確認することを求めます。サプライヤーはすべての必須要件を満たす責任を負い、その要件を満たすかそれを上回る範囲で、自社のトレーニングやコミュニケーションを活用することができます。



モニタリングと透明性

サプライヤーは、本規範および参照されたポリシーの遵守を維持するために積極的な管理姿勢を取ることが期待されており、必須要件の不遵守に関する既知の問題があれば速やかに報告しなければなりません。以下の規範は、このプロセスの遵守と透明性を確保し、Kraft Heinzがサプライヤーに期待する行動を示しています。

モニタリング

自己評価：Kraft Heinzは、（Kraft Heinzの第三者リスク管理ポータルを通じた）サプライヤーの自己申告や、アンケート、オンライン評価を使用して、サプライヤーが本規範を遵守しているかどうかをモニタリングする権利を留保します。

サプライヤー評価：必要と判断される場合、Kraft Heinzおよびその指定代理人（指定された第三者を含む）は、Sedexなどの認定プラットフォームでのオンボーディングや連携、また必要に応じてSMETAなどの現地監査、その他の認定評価基準に基づく監視活動を、合理的な事前通知のうえでサプライヤー拠点において実施します。Kraft Heinzは、本規範の不遵守の可能性をさらに調査し、是正措置の実施状況を見直すため、または規制当局やその他の第三者からの問い合わせに対応するための追加監査を行う権利を留保します。

不遵守への対応

Kraft Heinzが本規範の要件に沿わないサプライヤーの行為を認識した場合、Kraft Heinzは報告された不遵守について調査するために適切な措置を講じ、その調査結果をサプライヤーと協議します。サプライヤーは調査に協力し、要請された情報へのアクセスを提供しなければなりません。Kraft Heinzが是正措置が必要と判断した場合、サプライヤーは定められた期限内に不遵守を迅速に是正するための是正計画を実施します。

本規範に違反する重大または持続的な行為があった場合、サプライヤーの行為は個別に評価されます。Kraft Heinzは、これらのサプライヤー行動規範に記載された必須要件を満たさないサプライヤーとの契約や事業関係を終了する権利を留保します。

高リスク商品の責任ある調達

私たちは、サプライチェーン内の特定の商品が生物多様性の保全や、気候変動の緩和、人権基準、地域社会の人々の暮らしにおいて重要な役割を果たしていることを認識しています。Kraft Heinzは、パーム油、大豆、カカオ、コーヒー、牛肉、木材由来の素材（紙や梱包材を含む）などのリスクの高い商品の調達において、サプライチェーンパートナーと協力しています。私たちは、サプライヤーに、業界で認められた認証制度を通じて責任ある調達に関する資格を示すことを求めており、必要に応じて、これらの認証を証明する文書による証拠の提出を求める権利を留保します。

サプライチェーンの透明性とトレーサビリティ

サプライヤー、その下請業者、仲介者は、原材料や梱包材の透明性とトレーサビリティを実現する上で重要な役割を果たしています。サプライヤーは、原材料の出産地（国または地域）、生産、調達状況、場所や高リスクの商品供給源を含む十分なトレーサビリティとデータを維持し、工場や農場へのトレーサビリティ、関連するリスク評価、モニタリング結果を保持することが求められます。また、サプライヤーは出産地から最終製品までのトレーサビリティを確保し、要請があれば認証証明を提出しなければなりません。Kraft Heinzは、この情報を品質、食品安全、および倫理・環境面の目標を支援するために使用する場合があります。また、サプライヤーは、自社のサプライチェーン全体にわたる監査および評価活動を促進することが求められます。

Kraft Heinzは、関連するすべての人権法や、環境保護法、サプライチェーンデューディリジェンス法の報告および開示要件を遵守するため、また顧客および消費者の期待に応えるために、匿名データを使用します。サプライヤーは、これらのサプライヤー行動規範に記載されたすべての必要なデータを共有し、さまざまなトピックで支援することが期待されています。

懸念の報告

サプライヤーは、職場での苦情や、不正行為、違反、法的・倫理的な懸念について、従業員が秘密裏に報告するための仕組みを設けなければなりません。報告された問題は、迅速かつ丁寧に対応しなければなりません。また、調査の結果として生じた是正措置は、必ず文書化しなければなりません。サプライヤーは、違反を誠実に通報した従業員や調査に協力した従業員への報復を禁止しなければなりません。

また、サプライヤーや、その従業員、請負業者、代理人も以下を報告することが推奨されます。

- 本規範の不遵守の可能性について
- Kraft Heinzの従業員、代表者、その他の代理人による違反や不正行為は、Kraft Heinz倫理・コンプライアンスホットラインまで連絡してください。

Kraft Heinz倫理・コンプライアンスホットラインは独立した第三者が運営しており、機密性が高く、複数言語に対応しており、24時間利用可能です。報告は、各国専用のフリーダイヤル番号または www.KraftHeinzEthics.comからオンラインで行えます。KraftHeinzは、サプライヤーが、倫理・コンプライアンス通報ホットラインの利用可能性を自社の従業員に伝えることを推奨しています。Kraft Heinzは、誠実に不正行為を報告する個人やサプライヤーに対する報復を一切容認しません。




KraftHeinz
Kraft Heinzの倫理・コンプライアンスホットラインの国別フリーダイヤルを確認したい場合、
または規範に反する可能性のある行為をオンラインで報告したい場合は、www.KraftHeinzEthics.comをご覧ください。